

## 「地域懇談会」実施の報告

(能勢町社会福祉協議会)

- 下記のとおり、地域（地区福祉委員会）の方々から、ご意見を通じて地域の課題を把握することを目的に地域懇談会を実施しました。

- ＜日 時＞ 令和7年10月2日（木）午後1時30分～4時00分  
 ＜場 所＞ 能勢町立ふれあいセンター 多目的室  
 ＜参加者＞ 歌垣地区福祉委員会（4名）、田尻地区福祉委員会（4名）、  
 久佐々地区福祉委員会（4名）、岐尼地区福祉委員会（7名）、  
 東郷地区福祉委員会（4名）  
 ＜協 力＞ 社協 CSW、施設 CSW（5名）、能勢町福祉部福祉課（3名）

項目	プログラム	対象者
講演	「第4次能勢町地域福祉活動計画をつくる！」 ・地域福祉活動計画活動について、 ・グループワークの説明、作業の進め方など	大阪大学大学院 人間科学研究科 斉藤 教授
グループワーク	意見交換のテーマ ・4つの重点事業について ①地域の見守り活動の推進 ②相談支援体制の強化 ③生活支援体制づくり活動の推進 ④ボランティア活動の推進 ・第3次地域福祉活動計画の振り返り／評価 ・地域課題、取組さがし（5年後に何を指すか）	各地区福祉委員会、 CSW
発表・共有	各グループより発表（約5分／地区×5地区）	各地区福祉委員会、 CSW
報告	住民アンケートの結果報告	能勢町福祉課
講評	全体講評	大阪大学大学院 人間科学研究科 斉藤 教授

○各地域（地区福祉委員会）の方々から、「4つの重点事業について」、「第3次地域福祉活動計画の振り返り／評価」、「地域課題、取組さがし（5年後に何を指すか）」について、いただいたご意見を下記のとおり報告します。（一部抜粋）

① 歌垣地域（地区福祉委員会）＜対象者4名、CSW1名＞

■「4つの重点事業について」※一部のみ記載

地域の見守り活動の推進（小地域ネットワーク活動の推進）

- ・地域の方で体調不良の高齢者や、もし何かあった際には、民生委員や区長を通じて親族に連絡するようにしている。

■「第3次地域福祉活動計画の振り返り／評価」

【達成】

（社会からの孤立）

新しいイベントとしてグラウンドゴルフや村の祭り、七夕会などが実施できている。

（隣近所との関係）

誰でも集まれる場として百歳体操や祭りなどの場づくりができた。

【未達成】

（災害時の備え）

避難場所である「ふれあいプラザ」に行くには、間に川があるため難しい地域もあり、充実には至っていない。

（交通）

バス停がなくなった。

（医療体制）

医療機関までのアクセスの充実に至っていない。

■「地域課題、取組さがし（5年後に何を指すか）」

（就労の場と機会）

若者の働く場所がないため町外へ出てしまうので、町住民採用枠を設けた町職員採用制度。

（住環境）

下排水整備の充実。下水施設の100%導入。空き家対策や農地の管理。

（交通）

阪急バスがないので能勢から都心へ直通のバスを新設。（要望）

## ② 田尻地域（地区福祉委員会）＜対象者4名、CSW1名＞

### ■「4つの重点事業について」※一部のみ記載

#### ボランティア活動の推進（災害ボランティアセンター含む）

- ・ボランティアを依頼するような大きな災害も無かったため、昔からの助け合う習慣や風土があることから、ボランティアとしての意識はなく助け合いをしている。

### ■「第3次地域福祉活動計画の振り返り／評価」

#### 【達成】

##### （交通の確保）

有償運送事業は民間の介護タクシーも含めて選択肢や利用頻度は増加していると思われる。

#### 【未達成】

##### （交流センターの設置）

公的な施設の設置はできていない。田尻小学校も取り壊しで利用できなくなった。

##### （災害時の備え）

自主防災組織を作り、防災力強化を目指したが、従来の消防団の活動のみにとどまっている。

##### （地域の治安）

防犯カメラの導入を希望したが設置できていない。

### ■「地域課題、取組さがし（5年後に何を指すか）」

#### （移手段の確保／災害時の備え）

移動販売や乗合タクシーの利用促進。災害時の移動が課題であり、高齢化が進むので重要性が高まる。

#### （住民間の交流）

この間に長寿会がなくなった地区もある。最寄りの絆は強いので既存の枠組み以外にも集まる機会を模索。地区ごとでより多くの人に参加できる方策を検討。

#### （福祉サービス）

住民への周知の場を設け、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の活動について知る機会を設ける。

### ③ 久佐々地域（地区福祉委員会）〈対象者4名、CSW1名〉

#### ■「4つの重点事業について」※一部のみ記載

##### 地域の見守り活動の推進（小地域ネットワーク活動の推進）

- ・民生委員による見守り活動やふれあい茶話会、秋祭りを実施しているが、地域によってはコミュニティに温度差があり、地域に関わりたくないという地域もある。

#### ■「第3次地域福祉活動計画の振り返り／評価」

##### 【達成】

###### （災害時の連絡体制）

町内放送の充実はできている。ただし、聞こえにくい地区はある。

###### （災害時の対応）

自主防災体制が作られた。実際の活動や体制の維持が重要。

###### （福祉サービス）

百歳体操の実施。ふれあい茶話会の対象者を拡大して子どもなど含め「秋祭り」と称して実施。  
／スマホ教室を実施。

##### 【未達成】

###### （災害時の備え）

空き家で放置された樹木など、町に相談しても、まずは地域で連絡をとって持ち主に解決してもらい、町は対応してくれない。手紙を送ったりもしたが反応がないときにどうすれば良いか。

###### （独居老人への対応）

命のカプセルの更新はできていない。現在のニーズに合わせた項目にすることが必要。

###### （就労）

企業誘致はできていない。

###### （後継者問題）

若者離れが加速。

#### ■「地域課題、取組さがし（5年後に何を指すか）」

##### （地域の活性化／交流の機会）

年1回、「みんなのつどい」やふれあい茶話会の開催を継続。対象者を拡大した秋祭りの継続。

##### （空き地／植木問題）

解決するための手順の整備。

##### （福祉サービス）

町、社協との連携に取り組み、必要な情報の発信。住民が知れるような工夫。

#### ④ 岐尼地域（地区福祉委員会）＜対象者7名、社協職員1名＞

##### ■「4つの重点事業について」※一部のみ記載

###### 生活支援体制づくり活動の推進（協議体の設置、運営補佐に向けての取組）

- ・生活支援体制づくりの活動や仕組みの理解が進んでいない。

##### ■「第3次地域福祉活動計画の振り返り／評価」

###### 【達成】

###### （交通）

ふれあい号の利用。乗合タクシーの利用。（ただし、停留所がゴミステーションは良くない）

###### （公民館の有効活用）

百歳体操などで利用。清掃は高齢化も進み難しくなっている。災害時の一時避難場所として人数の多い地区では検討が進んでいる地区もある。

###### （災害時／近隣との関係／心の健康／子育て）

日頃からの散歩で近所の人との挨拶。声かけを実施。

###### 【未達成】

###### （地域の治安／災害時の備え）

区の役員、消防団、防犯委員、福祉委員と一緒に区内を歩き、年1～2回の課題共有や危険個所の点検。マップ作りなどはできていない。

###### （就労の場と機会）

生まれ育った場所で仕事ができる魅力ある職場の提供や多くの方が就労できる企業誘致についてはできていない。

###### （若者離れ）

地域の人が入ってきた人を盛り立てて応援していくという取り組みについては、できているとは言い難い。

###### （子どもの遊び場）

自分たちで維持管理できるしくみづくりと資金集めはできていない。子どもの減少。

##### ■「地域課題、取組さがし（5年後に何を指すか）」

###### （協議の場と機会）

地域の課題を地域住民で話し合う場を持つこと。

###### （役割の把握）

福祉委員の役割、区長の役割や権限などを確認。

###### （情報の伝達）

自治会、福祉委員会、民生委員児童委員協議会の活動において情報発信が上手くできていないため、区長から福祉委員会への発信。福祉委員会から民生委員への発信に取り組む。

⑤ 東郷地域（地区福祉委員会）＜対象者4名、CSW1名＞

■「4つの重点事業について」※一部のみ記載

相談支援体制の強化（コミュニティソーシャルワーカーの活動推進）

- ・CSWの存在は知っているが、気軽に声掛けや依頼をする方法がわからない。具体的にどのような活動をしているのかがわからない。

■「第3次地域福祉活動計画の振り返り／評価」

【達成】

(近所の情報)

一定の情報共有はできている。

(地域の活性化)

「けやきの里」現在活動中。リニューアル後、地域に限らず、いろんな人が来るようになった。

(防災の拠点)

無料で施設利用ができるため、利用する団体、個人は多い。防災の拠点はできている。

【未達成】

(医療)

診療所までの交通の便については、バスを出してほしい。

(子育て)

地区によって子どもがいない。子育て家庭をつなぐラインのようなわかりやすい図の作成には至っていないが、一部の地区では、他地域の子どもを15:00から16:00まで（月～木）児童の一時預かりを行っている。

■「地域課題、取組さがし（5年後に何を指すか）」

(コミュニティ)

地域の人とつながれる新たなコミュニティの形成。（週1回又は月1回）

(交通)

交通の便が大きな課題。妙見口まで行きたい。みんなで一緒に買い物に行く取組。

(地域の活性化)

コンビニのようなお店がほしい。（要望）